

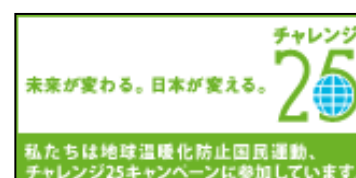
環境パフォーマンス

〈2009年度データ〉



未来の子供達のために
美しい地球を残しましょう！

モリタエコノス EMS事務局



■ はじめに

(株)モリタエコノス本社・本社工場は1999年6月～約10年間にわたりISO14001の認証を取得（審査登録）してまいりました。ISO認証取得時の環境活動において、認証に関らず環境法規制順守は勿論のこと、環境負荷低減活動が意識付けされてきていることもあり、2009年度～はISO14001の認証を一旦取下げしてまいります。

認証取下げ後も、全社一丸となり、社会的企業責任（環境法規制順守）を果たし、環境負荷低減活動に取り組んでまいります。

2009年度の環境パフォーマンス全体についてまとめてありますのでご一読下さい。

社長の言葉

昨年（2010年）の漢字一文字は「暑」でした。今年の夏の暑さは異常でした。これがまさに温暖化による気候変動の影響です。

日本の食糧自給率40%、今年の暑さにより米の等級一等米が1999年以来過去最低の62%、**おいしいお米が食べられない。**

中国による**レアメタル**輸出規制、漁師が大変困っている越前クラゲが今年は全く発生無し。

暑さ対策で電気使用料が増加、これを補う**自然エネルギー**、レアメタルに代わる**代替材料の研究**。

皮肉なもので人間は異常時には知恵を絞り**技術革新**をやっている。

当社も遅ればせながら**環境活動「環境負荷物質のフリー化」**に取り組んでいます。

当社の企業理念「安全で住みよい豊かな社会に貢献し、社会との調和を図る」のもと、**安心・安全で環境を保全**するための車輛を製作し、これを通じて**地球環境づくり**に努めています。

その成果を環境パフォーマンス2009（環境報告書）で明らかにし、事業活動の更なる改善と、より一層の**環境負荷物質軽減**に取り組んでまいります。

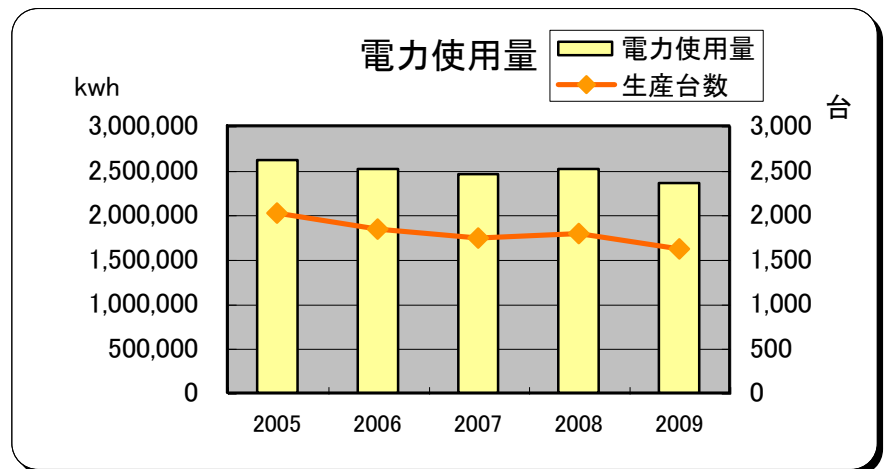


取締役社長
奥田 善次郎

■ 環境パフォーマンス（注：生産台数は、社外架装台数も含みます）

● 電力使用量

2009年度は、前年より生産台数の減少と、カチオン塗料の変更(攪拌不要のエコタイプ)に変更することにより、電力使用量が減少した。(2009年9月～)



● エネルギー使用量(原油換算)

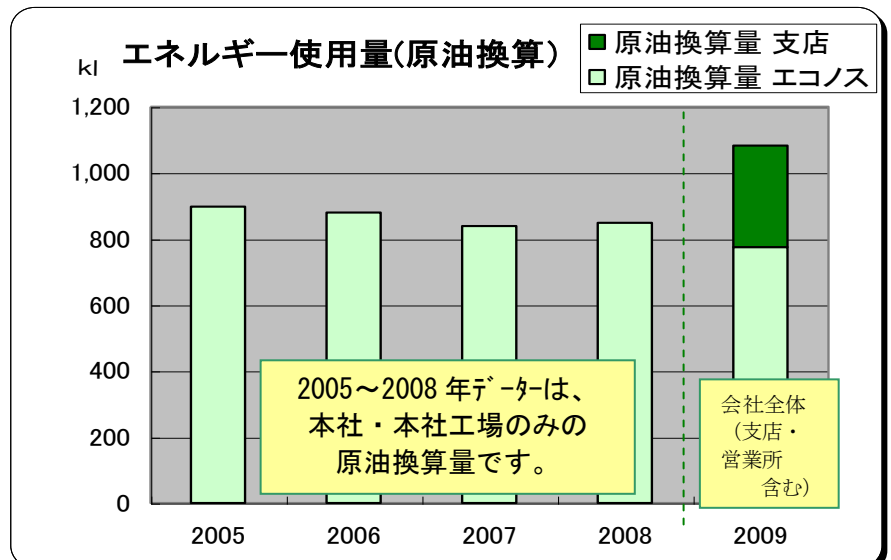
対象：電気、都市ガス、プロパンガス、ガソリン、灯油、軽油

2009年度の原油換算値=1,083kl

<注意事項>

- ・2009年度のデータは、省エネ法改正のため、事業者全体(支店・営業所も含む)の原油換算値です。

※原油換算（年間）1,500kl 未満なので、「省エネ法」のエネルギー管理指定工場に該当しません。

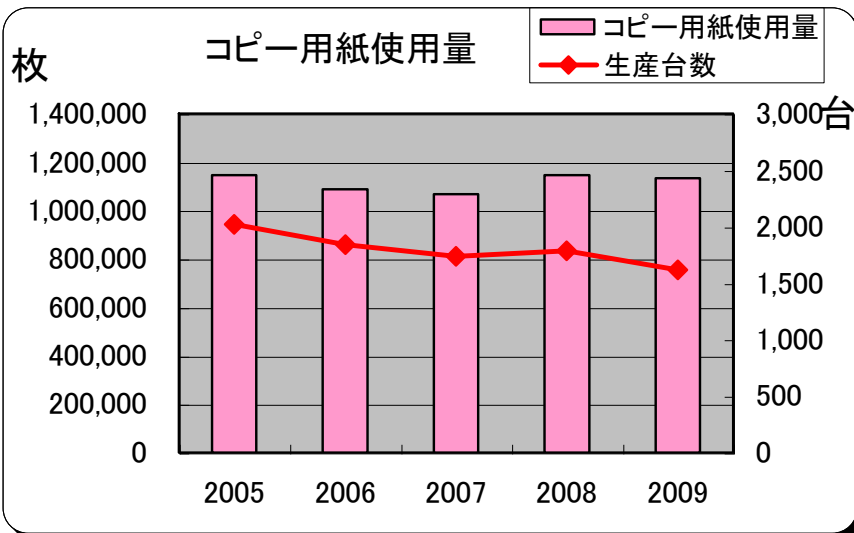


● コピー用紙使用枚数

2009年度の目標は、2008年度対比6.7%削減のところ、10.1%削減となり「達成」でした。

1日の単位で実感してみると・・・

(1年の稼働日数=241日で換算)
 2009年度=毎日、4,700枚使用
 2008年度=毎日、4,750枚使用

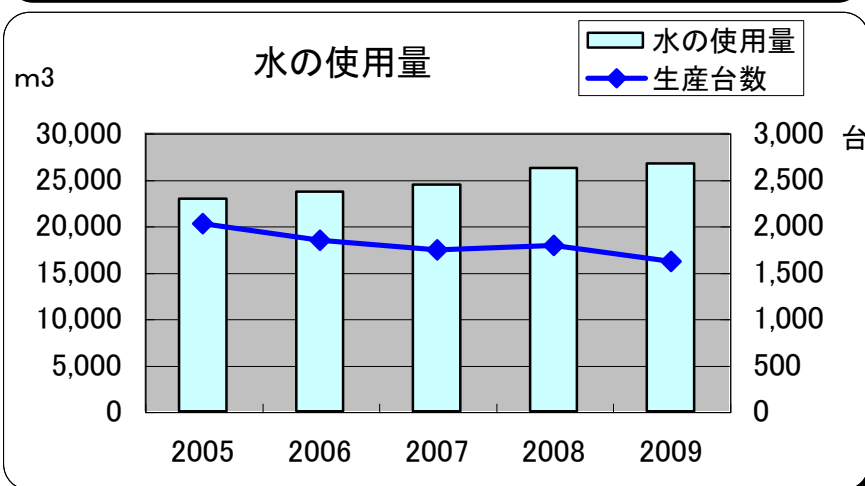


● 水道水使用量

過去3年間において、老朽化による配管漏洩が発生しており、水道使用量の推移が不明確となっている。

1日の単位で実感してみると・・・

(1年の稼働日数=241日で換算)
 2009年度=毎日110m³(=110ト)使用
 2008年度=毎日109m³(=109ト)使用



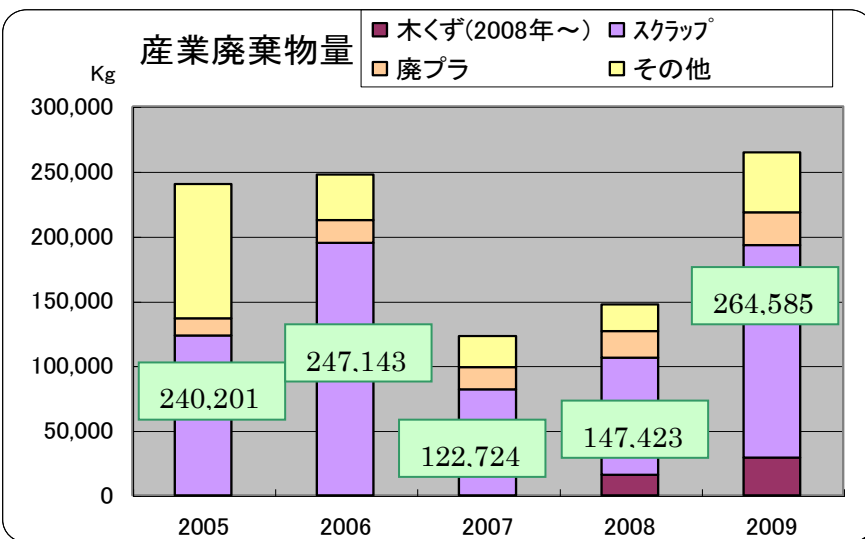
● 産業廃棄物総排出量

(再資源化量含む)

2009年度は、2Sの徹底化により、什器・備品の廃棄、工場内の整理、クレーム品の廃棄、滞留品の処分等で廃棄量(スクラップ=有価物)が増加。(スクラップ重量=156,010kg)

2008年度より、「廃材(木くず)」が一般産業廃棄物⇒産業廃棄物(マニフェスト管理)に変更となった。

※2009年度「廃材(木くず)」処分量=29,160kg



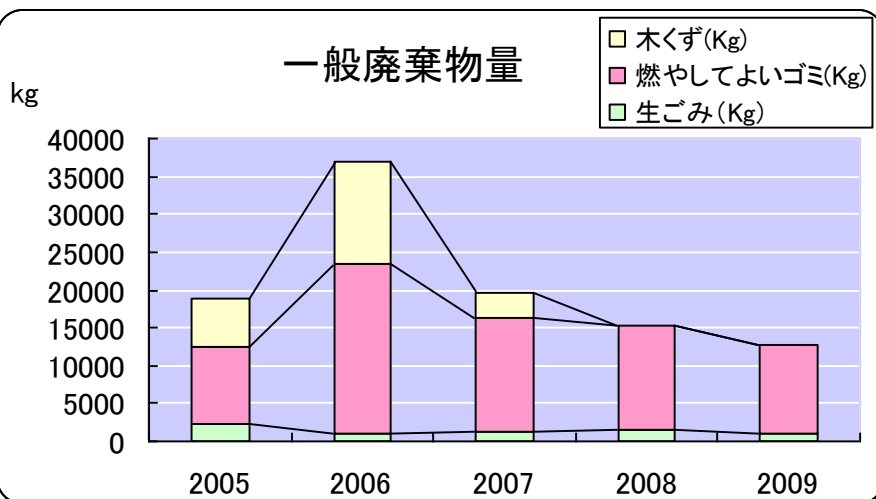
● 一般廃棄物排出量

2006年度は、実験棟横の倉庫撤廃のため処分量増加。

2007年度からは、毎年定期的に不用品(機密書類など)を処分するようにしている。

※2S(整理・整頓)活動の徹底

※「廃材(木くず)」は、2008年度から産業廃棄物に変更となりました。



● PRTR法に基づく排出・移動量

※P R T R法 (Pollutant Release and Transfer Resister : 特定化学物質の環境への排出量等の把握及び管理の改善の促進に関する法律)

スプレーガンによる塗装作業において、塗装ブース内の活性炭への吸着率：90%、塗着効率：40%として、塗料の購入量から算出しました。
※サイトの全購入量ベースで算出

PRTR排出・移動量推移

物質No.	CAS	特定化学物質名	単位:kg		
			2007年	2008年	2009年
227	108-88-3	トルエン	400.75	316.78	293.67
63	1330-20-7	キシレン	239.70	257.25	120.74
40	100-41-4	エチルベンゼン	62.37	48.89	49.52
		その他	49.69	40.90	41.83

● 大気測定 (カチオン電着塗装施設の排ガスを測定しています)

規制対象 / 機器・設備等	規制対象 (測定物質等)	規制基準 (値)		実測値 (最大)		
		国	府	2007年	2008年	2009年
乾燥炉 (カチオン電着塗装施設)	ばい塵	-	0.1 g /Nm ³	0.001	0.001	< 0.001
	NOx	-	150ppm	34	34	26
	ホルムアルデヒド	-	13.48mg/Nm ³	0.87	5.4	1.3
ボイラー (カチオン電着塗装施設)	ばい塵	0.05 g /Nm ³	-	< 0.001	0.004	0.001
	NOx	230ppm	-	29	27	29
化成皮膜施設 (カチオン電着塗装施設)	マンガン	1 mg/Nm ³	-	< 0.01	< 0.01	< 0.01

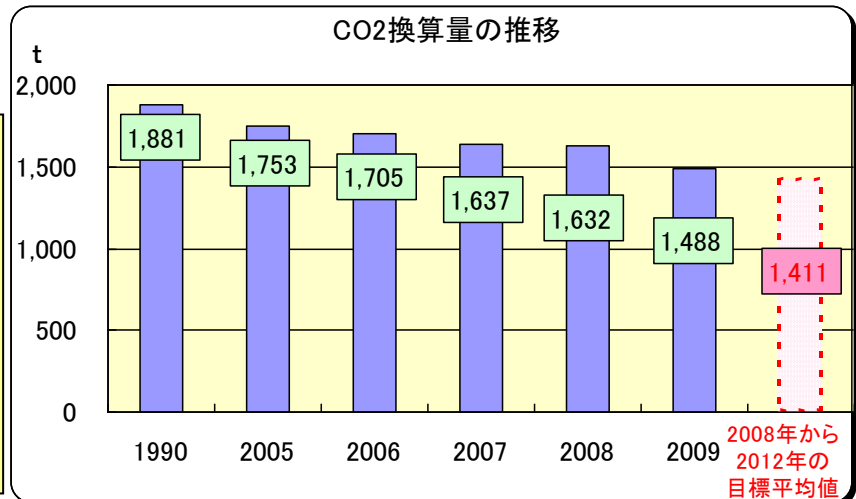
● CO₂発生量

(CO₂は地球温暖化の原因となります!)

車工会目標値

「2008年度～2012年度のCO₂排出量平均値を1990年度比25%削減」としています。

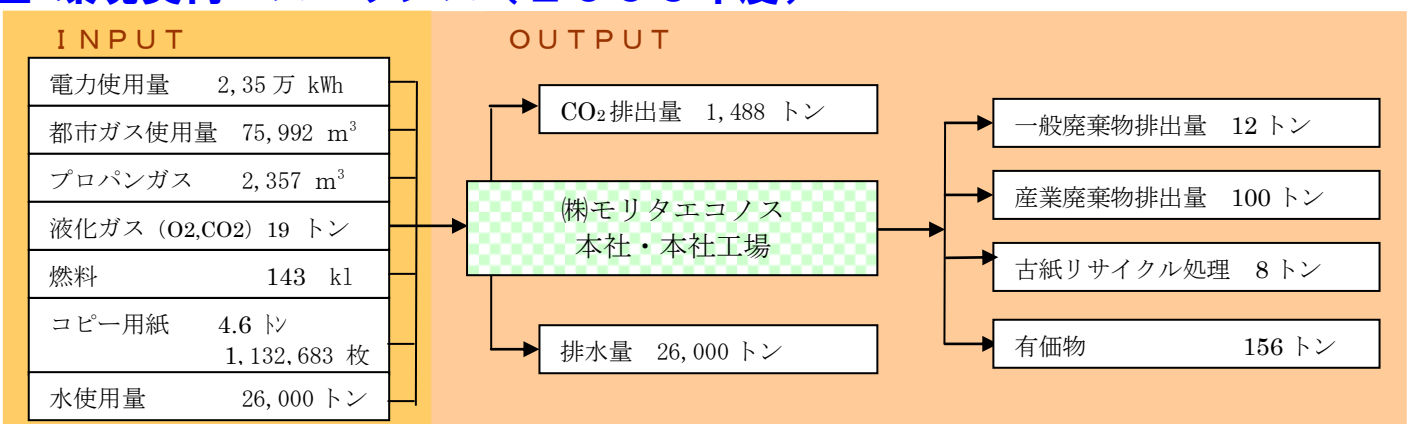
1990年以降(1997年～)はかみ工場が増設され、それに伴う電力使用量が、約487,060kwh/年増しとなっている。もしもかみ工場の電力量を除いたとすると1,304tとなり、車工会からの目標値に達成しています。



● 水質測定 (排水処理後、公共下水道へ放流しています)



規制対象 / 機器・設備等	規制対象 (測定物質等)	規制基準 (値)		実測値 (最大)		
		国	府	2007年	2008年	2009年
排水処理施設 (カチオン電着塗装施設)	鉛	0.1mg/1L	-	< 0.05	< 0.05	< 0.05
	pH	5.7～8.7	-	7.7	7.7	7.7
	BOD	300mg/1L	-	84	56	200
	SS	300mg/1L	-	30	26	16
	ノルマンヘキサン抽出物質 (鉱油)	5mg/1L	-	1	3	2
	亜鉛	5mg/1L	-	< 0.05	0.2	0.17

■ 環境負荷マスマランス (2009年度)







■ 2009年度 実施計画（環境マネジメントプログラム）－《本社・本社工場》

会社全体環境目標：「2011年9月末までに環境負荷物質フリー化」

車工会からの新たな要求	2009年度活動計画	2009年度の主な活動内容
<p>2011年9月末までに環境負荷物質フリー化</p> <p>※登録企業売上上位30社への要求（2009年7月） （エコノスも対象企業）</p>	<p>車工会の要求事項に対し、協力参加する。</p> <p>糞尿車、塵芥収集車の標準機種から実施したあと派生機種に水平展開し、2011年9月末までに完了見込み</p>	<p>① 《従業員への教育》 環境管理責任者から全従業員に「環境負荷物質フリー宣言」についての説明会の開催</p> <p>② 《社内への掲示》 「環境負荷物質持込禁止！」 納入部品は2010年3月末までに完了させる！」</p> <p>③ 《取引業者へ教育と誓約書提出依頼（193社）》 部品センター主催の取引業者への説明会を利用し、エコノスの「環境負荷物質フリー化」について教育を実施した。 ご理解・ご協力していただける業者へ、「誓約書」の提出を依頼した。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>《従業員への教育》</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>《社内への掲示》</p>  </div> </div>		<p>※環境負荷物質が含有しているが、代替予定のない部品を納入している協力会社からは督促しても誓約書が頂けない ⇒一般的に代替品の入手困難な部品については、取組み対象外となる（車工会取組み基準より）</p>

■ その他の活動

<p>① 清掃ボランティア（1回/月） 2000年2月7日開始～継続中 第129回（2010年11月末現在）</p>	 
<p>② 食堂のお箸を割り箸から再利用可能なお箸に変更 ※女性社員のアイデア提案により2006年9月開始</p>	
<p>③ チャレンジ25への参加 「COOL BIZ」、「WARM BIZ」の推進（2007年7月～）</p>	
<p>④ カチオン電着塗料の変更 電着塗料中の顔料成分が沈降性の性質を持っているため、常に攪拌ポンプ電着塗料構内を攪拌する必要があり、莫大な電気使用量が発生 ⇒ 攪拌不要のエコタイプ(含料成分が沈降しない)に変更することで夜間・休日の攪拌を停止することが可能なため、大幅な電気使用量削減、環境負荷の低減に繋がった。</p>	

■ おわりに

地球に暮らす人間の一人ひとりが、1つでも環境によいことをしてみると、きっと地球の未来は変わっていくと思います。モリタエコノスはこれからも、環境を守るためにできることを考え、実行していきます。